

## 2017年度 南ユタ大学短期研修プログラム 報告書

函館校 地域協働専攻 3年 阿部友香

### 1) プログラムで受講した授業について

基本的に午前9時から午後4時近くまで授業があります。午後5時には帰宅しなければならないので、大学内の施設を利用したり見て回ったりする時間が十分にとれず残念でした。また、午後5時に帰宅し、ホストファミリーとの時間をもち なおかつ宿題もこなすというのは時間的に厳しかったです。

さらに せっかく留学しに来ているのに、授業は「北海道クラス」として教育大学の日本人学生のみで行われていたため学部生や他の留学生との関わりが希薄であり、物足りなさを感じました。

午前は一貫してESLという授業が行われ、いかに効果的に かつ楽しく英語を学習するかを学びました。アイスブレイカーやカードゲームなどはゲームを通じて楽しく語彙が鍛えられるという実感があつたので有意義でした。しかし全体として教授の話を聞いているだけの時間が長かったので、勉強しているという感覚はあまりありませんでした。

最終日には、時季外れですがアメリカのクリスマスを体験させてもらいました。お菓子を食べながらクリスマスカードを作ったりクリスマスの映画を見たりして楽しみました。

午後はビデオの作成、施設などの見学、プレゼンテーションの準備などの時間にあてられました。

ビデオはホームステイや大学生活の感想を紹介するものですが、一度しかやらなかったうえ準備の時間も短く個人的にはあまり意義を感じませんでした。

施設の見学では博物館、ブライスキャニオン国立公園、大学構内の美術館を見学しました。アメリカの古い歴史、日本では見られない珍しい地形、ユタ州に根を下ろして活動を行った画家についてなどユタ州に関する自分を自分の目で見て学ぶことができたのでよい活動だったと思います。

プレゼンテーションは全部で4回ほど行いました。短期間に発表が集中していたのでいつどの発表をするのか混乱があつたうえ それぞれの準備の時間があまりとれず大変でした。日本の文化を紹介し交流するというのが趣旨だとは思いますが、正直プレゼンテーションばかりでうんざりしました。

最終プレゼンテーションはブライスキャニオン国立公園と北海道の国立公園一つを比較するというものでした。他の留学生に向けて発表を行いました。全員が同じテーマなので聴く方は退屈だったと思いますが、留学生とコミュニケーションをとることができたという点ではよかつたと思います。

私の一番のお気に入りにはスカベンジャーハンティングです。学部生にランダムに声をか

け いくつか質問をするというものです。それまで学部生と会話する機会があまりなかったので新鮮な活動でした。こういうことがしたかったのです。また、留学生と合同で行ったバーベキューパーティでは、アフリカや南米など様々な国から来ている留学生と話すことができ楽しかったです。

## 2) 次回の参加者に伝えたいこと

週末にはザイオン国立公園、ラスベガス、ホストファミリーの祖父母の家など様々な場所に連れて行ってもらいました。ガンシューティングやロデオの見物など日本ではできない経験がたくさんあるので、家族との時間を大事にしてほしいです。

### ・所持品

昼と夜の寒暖差が激しいので夏服だけではなく暖かい服装も用意する必要があります。また、非常に乾燥しているのでリップクリームや保湿クリームを持っていくことをお勧めします。日差しも強いので、気になる方はサングラスや日焼け止めを持っていくといいかもしれません。

ストレスや疲労から体調を崩しやすく、今回の参加者もほとんどが風邪をひいていたので風邪薬を持っていくと万が一の場合にも安心です。

学校の課題にはパソコンがあると便利です。

### ・注意点

留学ビザを取得していないので、滞在先を南ユタ大学とすると入国時に止められてしまいます。ホームステイ先の住所を予め教えてもらいましょう。

シーダーシティはのどかな場所なので問題ありませんが、ラスベガスに遊びに行くことがあれば混雑していて治安のよくない場所なので気を付けてください。



ミュージカル  
リトルマーメイド観賞



ザイオン国立公園



ラスベガスにて